



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会
宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋 4 2 6 2
TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096
URL http://www.narumigaoka.jp/

平成二十九年度 OB祭実行委員長あいさつ

平成二十九年度OB祭実行委員長

林 健太郎



まだ遠いと思っていたOB祭の担当も、いつの間にか月日は流れ、来年の8月には私たちの学年で担当させていただきます。平成29年度高鍋高校OB祭実行委員会を担当します。

私たちが過ごした高校時代には、バブル崩壊後の日本経済の不安定さや就職氷河期、スポーツではW杯サッカーアジア予選でのドーハの悲劇などを目の当たりにし、何かと暗いニュースが多かったように感じます。その中でサッカーのJリーグが開幕するなど、少しずつですが新たな事が始まりつつある年でした。

私自身、今年度のOB祭ゴルフコンペ、鳴海ヶ丘会総会、OB祭記念講演会及び懇親会まで参加させていただきましたが、皆様の母校に対する想いを感じ、改めて責任の重さを実感している所です。

私たちは、歴史ある高鍋高校の伝統を継承していかねばなりません。伝統とはただ引き継ぐだけでなく、自分達の思いもプラスし、その時代にあったものとして後輩に引き継ぐことだと思います。暗いニュースが多かった時代を過ごしてきた私たちがだからこそ、楽しむということを伝えたいと思います。

来年度のOB祭では参加していただける皆様に楽しんでいただけるように実行委員全員で努力致します。その中で担当する私たちも楽しむことができると考えています。

最後になりますが高鍋高校及び鳴海ヶ丘会の更なる発展とご健勝を心から祈念しあいさついたします。

平成二十八年度 OB祭実行委員長あいさつ

平成二十八年度OB祭実行委員長

脇本 隆一



私たち平成28年度高鍋高校OB祭実行委員会(平成5年卒)は、「歩(YUMU)をテーマに掲げ、8月12日、13日の本番に向かって一歩一歩準備を進め、滞りなくOB祭を開催することができました。これも鳴海ヶ丘会の皆様や学校関係者、そして地域の方々の御支援、御協力によるものであると心より感謝申し上げます。さて、平成28年は、国内外で様々な出来事が巻き起こっています。

国際的には、難民問題、地域紛争や相次ぐテロ、そして北朝鮮による核実験や弾道ミサイル発射。暗いニュースに心を痛める日々が続く一方で、南米大陸初開催となるリオ五輪での日本選手団の活躍には、元氣・勇気・感動をもらいました。

そして国内では、4月に熊本県・大分県を中心に頻発した「平成28年熊本地震」。これも私たちにできることを、継続していかねばなりません。OB祭記念講演会の演題は、「継続する心」でした。プロ野球生活32年間をひとつの球団で活躍し続けた山本昌氏は、50歳まで職業選手として活躍してこられたホンモノの経験をお聞きすることができました。

また、オープニングイベントでの現役(高校生)とOB(川野みなみ氏(昭和43年卒)のコラボについても、多くの方から好評をいただきました。猛暑の中でのゴルフコンペも含めて、平成28年は私たちに忘れてはならない年になりました。

高鍋高校OB祭は、これからも歩み続けていくことでしょうか。

最後になりましたが、来年度の高鍋高校OB祭の成功と、高鍋高校並びに鳴海ヶ丘会の更なる発展を御祈念申し上げまして御礼の御挨拶いたします。

平成二十八年度 OB祭を終えて

事業推進局長

前田 智宏



今年度は私たちが担当させていただいた開催に当たり、昨年春より準備してまいりました。

私が担当した事業推進局の役割は、広報、協賛、記念講演チケット等の販売とOB祭の事業資金のほとんどを占めており不安しかありませんでした。販売部会、広報部会との二つの部会の部員を中心に他部門に加え、少しでも駆けつけてくれた同級生の協力により目標を何とか達成できました。ひとえにこれも地域の皆様や鳴海ヶ丘会会員の皆様のご協力によるもので、心より感謝を申し上げます。

OB祭に参加し、OB祭の成功を目標に一丸となり会議や体重も増量してしまいましたが、高校を卒業後、一人一人が歩んできた積み重ねが、OB祭という事業を通し、変わらぬ友情や新たな友情の芽生えるいい機会でした。県内の高校同窓会では珍しい事業ではありますがこれからも時代に合わせて脈々と続いていく地域に愛されるOB祭であってほしいと願っています。

最後になりましたが、来年度の高鍋高校OB祭の成功と高鍋高校並びに鳴海ヶ丘会の皆様の今後益々の発展をご祈念申し上げます。お礼のご挨拶いたします。



各支部からの報告

関西同窓会報告

関西支部事務局

井川 恭子

平成28年7月28日(土)、ご来賓をはじめ79名が出席して第51回高鍋高等学校関西同窓会を道頓堀ホテルで開催いたしました。総会に先立ち増田秀文鳴海ヶ丘会会長、新鍋高等学校校長と貴安利近畿宮崎県人会副会長からご挨拶をいただきました。

第一部総会の議事では、平成27年度事業報告や会計報告、会計監査報告のあと、平成28年度の事業計画及び予算案が承認されました。

第二部の懇親会は、校歌斉唱で幕を開け、猪股先生からDVDを見ながらの近況紹介がありました。画像で見る母校の生徒たちの姿に、遠く過ぎ去った青春に思いを巡らせ、「瞬「歳」を忘れた気がいたします。今回平成28年

在京同窓会総会報告

在京同窓会 前事務局長

児玉 博

在京同窓会の第49回総会は、去る6月18日(土)、赤坂のホテルニューオータニで114名の出席者を得て開催致しました。

高鍋高校から、児玉校長先生と猪股先生、鳴海ヶ丘会本部から、増田会長、黒田監事、関西支部から井川事務局長のご出席がありました。加えて、前年度と今年度のOB祭実行委員の方達の18名が参加してくれました。

総会では、「会長選任」が議案として諮られ、8年間、会長を務めてこられた中野英樹(S30年卒)さんから、大澤忠廣さん(S32年卒)への会長交代が承認されました。大澤新会長からは、心強い決意表明があり、新しい体制での今後の会運営が期待されます。また、4月着任された、児玉

卒業の、生島絵美子さんが出席されました。明倫奨学金を受け関西の大学に通う純粋な彼女のおかげで会場が一段と明るく華やかになりました。この日は言うまでもありません。また、元宮崎県ラグビー協会会長の増田十郎様やラグビーOB会会長の石田喜克様のご臨席を賜り、ラグビー部の花園出場の期待も高まります。他支部からのご出席もあり、年齢の差をはねのけ大いに歓談できたことに喜びを感じています。本当にありがとうございました。

感謝申し上げます。「高鍋高校OB祭」実行委員のみなさんは元氣いっぱい。これからの活躍が目に見えるようでした。さらにさまざまな経験と自己研さんに励み、次代を担う原動力になっていただけると確信しています。



校長からは、学校経営の新しい抱負をお聞きし、増田会長からは、明倫奨学金の運営や、野球部強化の後援活動に対して私たちがOBへ協力の呼び掛けがありました。今回も、黒木本店、甲斐製茶、更には、都農役場等から、協賛の品を多数頂きました。それらの大半は、抽選会の賞品に使わせて頂き、会の盛り上げに大きく貢献してくれました。協賛企業の皆さんに心からお礼申し上げます。出席者数は、やや寂しいも

のでしたが、皆さん夫々が、会を満喫され、満足感に浸って帰路につかれたものと存じます。なお、来年の開催は、6月17日(土)を予定しております。お互い元気で再会致します。



以上



